

○ワークショップ「消費者行動」

開催責任者 ビジネス研究科 石垣智徳

湯本祐司

経営学部 南川和充

2016年3月5日

3月6日

南山大学名古屋キャンパス J棟 4階 415 会議室



ワークショップは以下のとおり、開催された。

◇報告者および題目

3月5日(土)

1. 里村卓也 (慶應義塾大学商学部)
「顧客特性を考慮した 購買トピックの分析」
2. 中田善啓 (甲南大学経営学部)
「ビッグデータ時代におけるマーケティングパラダイムのシフト」
3. 石垣智徳 (南山大学大学院ビジネス研究科)、
三村健、金牧伸弥 (西川コミュニケーションズ株式会社)

「購買履歴情報を考慮した階層ベイズモデルによる買取・販売分析」

3月6日（金）

1. 中山雄司（大阪府立大学現代システム科学域マネジメント学類）
「購買者行動のモデルと顧客関係管理」
2. 辻本法子（桃山学院大学経営学部）
「ららぽーと和泉開業1周年にともなう、消費者行動の変化」

◇ワークショップの討論内容

本ワークショップでは広く消費者行動に関するモデル分析他に関する研究報告ならびにディスカッションを行った。例えば、里村氏は顧客の購買行動をトピックモデルによって、適当な数のトピックを設定し、興味深い発表を行った。また、辻本氏はららぽーと和泉開業1周年にともなう、消費者行動の変化について、アンケートを元にした開業前と開業後の変化について報告した。アンケートによる情報収集に関しての考慮すべき点や分析方法の改良に関する議論があった。

◇研究成果発表

報告者が各自、学術誌などに論文投稿や学会報告を計画している。